



れんげ畑

鴻巣市立鴻巣中央小学校
令和2年8月9月号

学校教育目標
キャッチフレーズ
ホームページ

【知】友と学ぶ子 【徳】心の豊かな子 【体】体をきたえる子
「はきはき・にこにこ・きびきび」
<https://kochuo-e-konosu.edumap.jp/>

児童数373人

2学期が始まります

校長 清水 励

猛暑続きの18日間という短い夏休みが終わり、最も長い学期である2学期が始まりました。学校においては、1学期に引き続き「新型コロナウイルス」の感染予防策を行いつつ、これまでに以上に「豊かな学びのある教育活動」に取り組んでいかなければなりません。「Withコロナ」という言葉に表わされるように、「新型コロナウイルス」への対応については、相当長期間にわたって持続可能な方法で行う必要があります。過日、文部科学省より改訂された衛生管理マニュアルが出されました(*1)。当マニュアルには、これまでに得られた知見をふまえ、学校の諸活動における衛生管理のための具体的な行動指針等が示されています。特に本校として新たに取り組むべきことは見当たりませんが、『地域感染レベル(*2)に応じた適切な対応を行うこと』が示されています。これは、「3密」回避の効果とともに、小学生においては「家庭内感染が70%、学校内感染が0%、家庭・学校以外での感染10%、海外からの帰国3%(経路不明17%)」という状況や、10歳未満や10代の罹患率と重症割合がともに低いことなどから(インフルエンザの罹患率は15歳未満が最も高い)、学校において、マニュアルの示す基準を目安に感染症対策を行っていけば学校内での感染が大きく広がるリスクを下げることができるという考えのもとに示されています。

本校においては、2学期も、これまで同様の対応を基本として取り組んでまいります。さらに、対応の重点として『対策の形骸化防止』を念頭に、必要な対策を全職員が一丸となって行えるよう、メリハリのある感染予防への取組を行ってまいります。あわせて、感染者や濃厚接触者には「誰でもなること」「感染した人は悪いことをしたわけではないこと」等、新型コロナウイルスに関わる差別・偏見・誹謗中傷のないよう、必要な指導についても折に触れて指導してまいります。

今後とも、学校における感染リスクの可能な限りの低減を図りつつ、子供たちの笑顔が多くみられる豊かな教育活動を行うために、保護者、地域の皆様のこれまで同様の御理解・御協力をよろしくお願いたします。



*1…『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル ～「学校の新しい生活様式」～』(文部科学省8月6日)

*2…レベル3…生活圏内の状況が「特定(警戒)都道府県」に相当する感染状況である地域

レベル2…生活圏内の状況が「感染拡大注意都道府県」に相当する感染状況である地域、または、「感染観察都道府県」に相当する感染状況である地域のうち、感染経路が不明な感染者が過去に一定程度存在していたことなどにより当面の間注意を要する地域

レベル1…生活圏内の状況が「感染観察都道府県」に相当する感染状況である地域のうち、レベル2にあたらないもの